

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

<p>研究課題名： 昭和大学横浜市北部病院における COVID-19 最前線で働く医療者へのメンタルヘルス支援の現状調査</p>
<p>1. 研究の対象 2020年4月～2021年3月に当院に所属している職員の方</p>
<p>2. 研究目的・方法</p> <p>COVID-19 最前線で働く医療者は、マイノリティによる影響を最も強く受けやすく、医療者自身の不安を駆り立て、嫌悪・差別・偏見を生み出すことがあります。その結果、同じ病院内での COVID-19 に直接従事する医療者とそうでない医療者間の連携や信頼感を破壊し、心理的仕事の負担感の増加が懸念されており、医療者へのメンタルヘルス支援は喫緊の課題となっております。</p> <p>そこでリエゾンチームでは、2020年4月から2021年3月まで昭和大学横浜市北部病院で働く医療者 1734 名を対象に、COVID-19 におけるメンタルヘルス支援として、e-ラーニングによる支援動画を配信しました。</p> <p>本研究は、今後の慢性化するコロナ禍におけるストレス状況へのメンタルヘルス支援について検討するため、最前線で働く医療者のストレス状況についての後方視的調査を計画しました。</p> <p>本研究では、当院職員のデータを取得します。データは、院内専用 e-ラーニング Glexa の受講ルーム内にて「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。</p>
<p>研究期間 昭和大学横浜市北部病院臨床試験審査委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから 2022年3月31日まで</p>
<p>3. 研究に用いる試料・情報の種類 e-ラーニングから調査します。 情報：動画の視聴率とアンケート結果</p>
<p>4. お問い合わせ先 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及</p>

び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて、ご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院リエゾンチーム

職名：係長・看護師 氏名：田中直、稲本淳子

住所：〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7000（代表）

研究責任者：係長・看護師 氏名：田中直、稲本淳子

研究代表者：係長・看護師 氏名：田中直